

学力向上に効果のある取組事例

竹田市立祖峰小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

伝え合い活動

考えを伝え合う力

- ・自分の考えを相手に伝わりやすい言葉で整理して表現し、互いの意見を深め合う。
(対話を行うためのツール)
- ・ペアやグループでの対話・付箋・ノート・ICTの活用
ホワイトボード 等

振り返りの共通合言葉「なしともも」

【な】なにを学習したか

毎時間のめあてと結びつけ、今日の学びを再確認します。

【し】しったこと・わかったこと

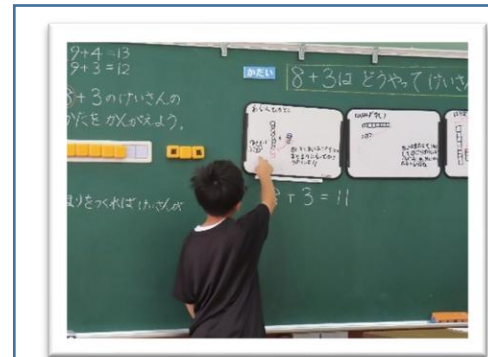
新しく習得した知識や概念、自分で実感できたことを言葉にします。

【とも】ともだちの考え・学び

自分にはなかった友だちの考えや対話によって深まった視点。

【も】もっと知りたい・やってみたい

次の学習に向けた主体的な疑問や意欲を言葉にしてつなげます。



ふりかえりの視点「なしともも」

学習をふりかえるときに活用しよう

な…何を学習したか

し…知ったこと、わかったこと

とも…友だちから学んだこと

も…もっと知りたいこと

取組の具体②

個別指導の充実「学びの時間」

- ・週2回(月・金)の確実な時間確保
朝の活動の時間に、国語・算数の基礎・基本定着のための学習を継続して行う。

・金曜日は「全教職員体制」での個別指導

複数の教員が子どもたち一人一人の「つまづき」に寄り添い、丁寧な指導を展開する。

・多面的な教材の積極的な活用

読解プリントや個々の進度に合わせたタブレット学習による苦手単元補強。水曜日の読書の時間に3分間の音読を導入。2学期より4, 5, 6年生はコラム学習を実施する。

